

整備効果 1 大和区間(郡山南IC～榎原北IC)の開通で、郡山IC～新堂ランプ交差点の所要時間が約1/2に短縮。

平成18年度の部分共用で、西名阪道交差点部～新堂ランプ(大和高田バイパス)の平均所要時間は、大和区間を利用した場合約18分となり、開通前に国道24号を利用していた場合の約40分と比べて、約1/2に短縮されました。

郡山IC～新堂ランプ交差点(西名阪道) (大和高田BP)の所要時間が約1/2に短縮

開通後 約18分
開通前 国道24号利用 約40分

凡例
京奈和自動車道 専用部(高架区間)
京奈和自動車道 一般部(平道区間)
国道
主要洗滞ポイント
調査日:平成18年10月31日

整備効果 2 奈良～明日香間の定時性が向上。観光や地域の活性化に期待。

奈良県内における南北方向の所要時間は、現国道の慢性的な渋滞によりばらつきが大きく定時性が確保されていませんでした。今回の部分共用で奈良公園から明日香村までの所要時間のばらつきは、約70分から約45分へ低減しました。

所要時間比較区間

■奈良公園～明日香間のばらつき状況
■奈良市～大和郡山市(R369～R24)

| | | |
|-----|-----|-----|
| 供用前 | 15分 | 35分 |
| 供用後 | 20分 | 40分 |

■大和郡山市～榎原市(供用前:R24現道) (供用後:京奈和道)

| | | |
|-----|-----|----------|
| 供用前 | 25分 | 35分のばらつき |
| 供用後 | 15分 | ばらつき大幅改善 |

■榎原市～明日香村(R169)

| | | |
|-----|-----|-----|
| 供用前 | 10分 | 25分 |
| 供用後 | 10分 | 20分 |

最短所要時間 最長所要時間
調査日:平成18年10月31日

所要時間のばらつき 約70分→約45分に低減

整備効果 3 周辺道路の交通量の減少により交通事故件数が約3割減少。

大和御所道路(大和区間)の供用後、周辺地域内に流入する交通量が減少し、安全性が向上しました。地元学校関係者からも好評を得ています。

渋滞減少による地元学校関係者の声
三宅町教育委員会
「県道結崎田原本線は、これまで通勤等で利用される車が多く、信号のない道路上では、児童・生徒の横断時に危険を伴ったり、時間がかかっていましたが、安全かつスムーズに横断できるようになったと思われます。」

交通事故件数の推移(毎年5月～11月の集計値)
田原本署管内(三宅町、川西町、田原本町)

| | | | |
|--------|-----|-----|-----|
| 年 | H16 | H17 | H18 |
| 事故件数合計 | 280 | 250 | 180 |

事故件数合計が約3割減少

資料:奈良県警察本部交通部 交通事故統計より

関西大環状道路

京奈和自動車道は京都・奈良・和歌山を結び、関西大環状道路の重要な路線のひとつとして、関西全体の活性化に大きな役割を果たします。また、京奈和自動車道沿線地域の課題を克服し、地域に新たな交流と活力をもたらす、豊かな生活を実現します。

埋蔵文化財調査

平成18年4月15日に郡山南IC～榎原北IC間が部分開通した大和御所道路大和区間においては、権原考古学研究所等によって埋蔵文化財調査が実施され、貴重な調査結果が報告されています。

●水晶塚古墳 発掘状況写真
●水晶塚古墳における主な出土品
●鳥形木製品出土状況
●円形埴輪出土状況

京奈和自動車道の事業の進め方

- 1/ 地元説明** 道路設計に必要な路線測量の立ち入り承諾を得るため、道路の計画概要を説明します。
- 2/ 路線測量** 田畑、山などの地形、地盤の高さなどを測量し、設計図の元図を作成します。
- 3/ 設計協議** 現存する農道、水路の機能復旧計画などについて、地元の方々で協議します。
- 4/ 道路設計** 地元との設計協議も踏まえ、工事実施のための道路の設計を行います。
- 5/ 幅杭設置** 地元にて、道路に必要な幅を示すとともに、境界の立ち会いをお願いし、杭を打って道路用地を確保します。
- 6/ 用地測量** 用地の面積を出すための測量を行います。
- 7/ 用地買収** 用地の単価提示など、地権者の方々との用地交渉を行い買収します。
- 8/ 工事説明** 工事の進め方、安全対策などについて説明します。
- 9/ 工事実施** 関係法令を遵守し、工事を行います。
- 10/ 開通** 工事が完了すれば通行を開始します。
- 11/ 維持管理** 快適な走行を確保するため、道路の清掃など、適切に維持管理します。

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所
〒630-8115 奈良市大宮町3丁目5番11号
TEL. (0742) 33-1391(代表)

道路の異状を発見したら道路緊急ダイヤルへお知らせください。
※道路交通法により運転中の通話は禁止されています。安全な場所に停車しておかけください。

#9910 24時間無料受付

ホームページで最新情報をごいただけます。**奈良国道ホームページ** <https://www.kkr.mlit.go.jp/nara>

令和8年3月

24 E24 京奈和自動車道

けい な わ やま と ご せ 大和御所道路 大和区間

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所

Keinawa Yamatogose-dō Yamato-kan

南北のアクセスを向上させる高規格幹線道路。

大和御所道路は、京都と和歌山を結ぶ延長約120kmの高規格幹線道路【京奈和自動車道】のうち、大和区間と御所区間で構成される延長約27.2kmの道路です。そのうち、大和区間の約13.8kmは郡山下ツ道ジャンクションを起点とし、奈良県下の中核都市である大和郡山市、橿原市を含む3市3町を通過し、大和高田バイパスに接続する区間です。

京奈和自動車道位置図

京奈和自動車道とは…
広域的には、既存の高速道路や主要国道と連携することで相互のネットワークを形成し、近畿大都市圏での時間短縮を図るとともに京都～奈良～和歌山の拠点都市の連携強化を図る役割を持っています。地域的には、奈良県の南北軸として骨格をなし、なら平日交通圏道路網構想を支援する道路です。また、自然と歴史・文化を活かした良好な居住環境を形成し、京奈和地域の特色を踏まえた「まちづくり」を支援するとともに、国道24号の渋滞緩和、交通事故減少、走行時間短縮、定時性確保など 地域の活性化に寄与する役割を担っています。

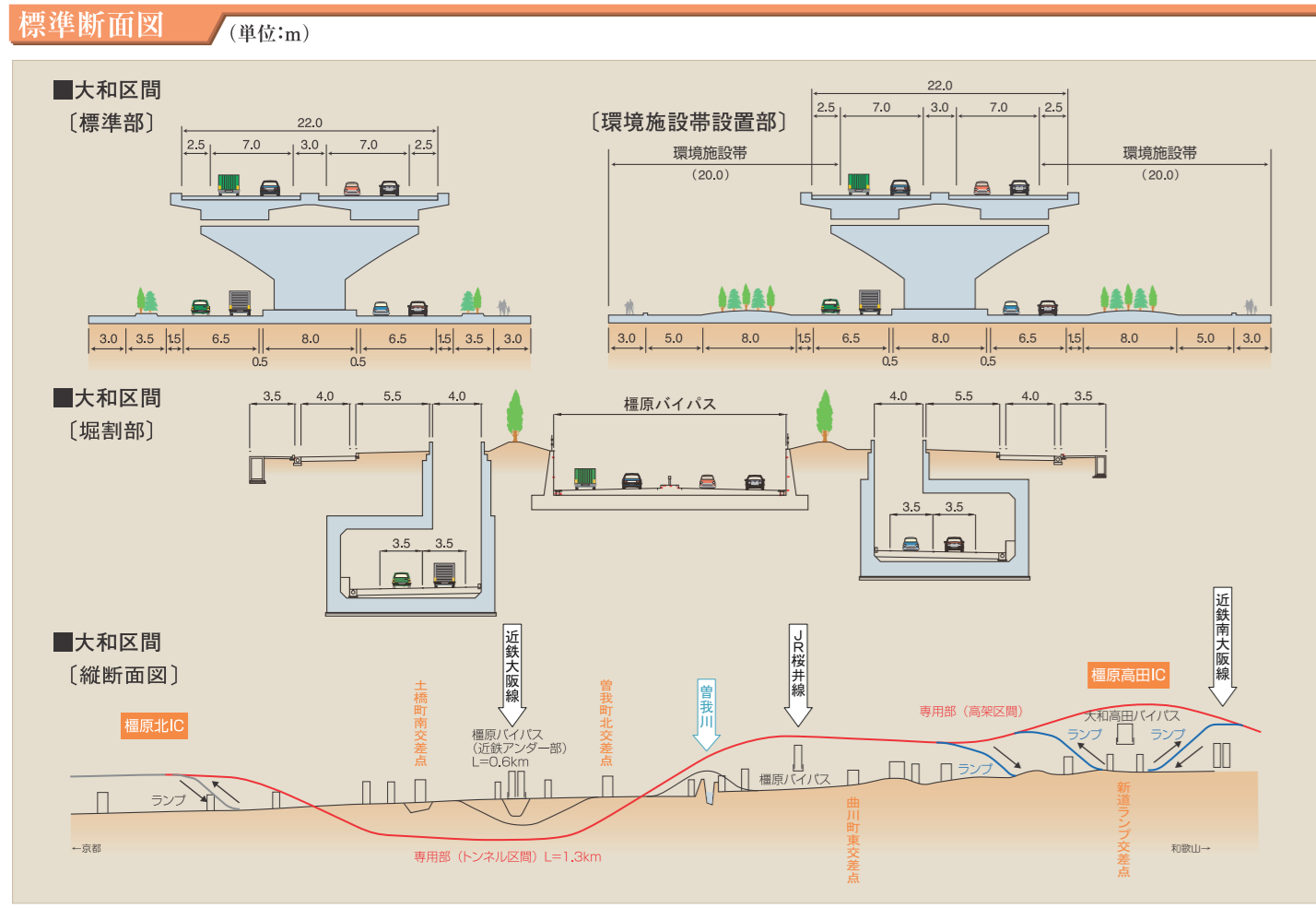
令和8年3月に 橿原高田IC(大阪方面接続ランプ)が開通

平成29年8月までに奈良県大和郡山市伊豆七条町～橿原市新堂町間の専用部9.4kmと一般部12.7kmが開通しています。令和8年3月に橿原高田IC(大阪方面接続ランプ)が開通しました。

高規格幹線道路とは?
第4次全国総合開発計画で提唱された「高規格幹線道路」とは、1.高速交通の全国的な普及と主要都市間の連絡強化、2.地方中核・中核都市・地域発展の核となる地方都市及びその周辺を1時間圏内で結ぶことを主眼とした道路です。

| 計画諸元 | | 連結位置及び予定施設 | | | |
|--------------|------------|------------|-----------------|--------------|------------------------|
| 大和御所道路(大和区間) | | 連結位置 | 名称 | 連結予定施設 | 連絡方向 |
| 区間(起点) | 大和郡山市伊豆七条町 | 大和郡山市 | 郡山下ツ道ジャンクション | 近畿自動車道名古屋大阪線 | 北方向への出・入口 南方向への出・入口 |
| 区間(終点) | 橿原市新堂町 | 大和郡山市 | 郡山南インターチェンジ | 一般国道24号 | 北方向への出口 南方向への入口 |
| 道路規格 | 第1種第2級 | 磯城郡三宅町 | 三宅インターチェンジ | 一般国道24号 | 北方向への出口 南方向への入口 |
| 延長 | 13.8km | 磯城郡田原本町 | 田原本インターチェンジ(仮称) | 一般国道24号 | 北方向への出口 南方向への入口 |
| 設計速度 | 100km/h | 橿原市 | 橿原北インターチェンジ | 一般国道24号 | 北方向への出・入口 南方向への出・入口 |
| 車線数 | 4車線 | 橿原市 | 橿原高田インターチェンジ | 大和高田バイパス | 北方向への出・入口 南方向への出・入口 |

| 事業の経過 | | 通過市町村 | | |
|--------|---|------------|---------|----------------------|
| 年度 | 大和御所道路(大和区間) | 市町村名 | 人口(人) | 面積(km ²) |
| 昭和47年度 | 橿原バイパス事業化 | 大和郡山市 | 83,285 | 42.69 |
| 48年度 | 橿原バイパス都市計画決定 | 天理市 | 63,889 | 86.42 |
| 58年度 | 橿原バイパス2.9km暫定[2/4車線開通](磯城郡田原本町十六面~橿原市土橋町) | 川西町 | 8,167 | 5.93 |
| 59年度 | 橿原バイパス2.84km暫定[2/4車線開通](磯城郡田原本町十六面0.64km及び橿原市土橋町~曾我町2.2km) | 三宅町 | 6,439 | 4.06 |
| 62年度 | 道路審議会の答申に基づき、14,000km高規格幹線道路網計画策定 | 田原本町 | 31,177 | 21.09 |
| 平成元年度 | 基本計画決定 橿原バイパス1.88kmが4/4車線拡幅(橿原市土橋町~曾我町) | 橿原市 | 120,922 | 39.56 |
| 4年度 | 大和御所道路27.2km事業化、用地着手 | ※令和2年の国勢調査 | | |
| 6年度 | 工事着手 | | | |
| 8年度 | 13.8km都市計画変更・整備計画決定 | | | |
| 15年度 | 京奈和自動車道一般部1.3km[4/4車線開通](橿原市曾我町~橿原市新堂町) | | | |
| 18年度 | 京奈和自動車道専用部7.8km[4/4車線開通](天理市二階堂北菅田町~橿原市小槻町) 京奈和自動車道一般部1.7km[4/4車線開通](大和郡山市伊豆七条町~天理市二階堂北菅田町) 京奈和自動車道一般部0.5km[2/4車線開通](天理市二階堂北菅田町~天理市二階堂南菅田町) 京奈和自動車道一般部0.7kmが4/4車線拡幅(橿原市小槻町~橿原市土橋町) | | | |
| 26年度 | 京奈和自動車道専用部1.6km[4/4車線開通](大和郡山市伊豆七条町~天理市二階堂北菅田町) 京奈和自動車道一般部3.5km[2/4車線開通](磯城郡川西町大字結崎~磯城郡田原本町大字十六面) | | | |
| 令和7年度 | 京奈和自動車道橿原高田IC(大阪方面接続ランプ)開通(橿原市新堂町~橿原市東坊城町) | | | |



| 凡例 | | | |
|----|---------|--|-----------------|
| | 京奈和自動車道 | | 住居専用地域 |
| | 有料道路 | | 近隣商業・商業地域 |
| | 一般国道 | | 準工業・工業地域 |
| | 県・市道 | | 工業用地 |
| | 都市計画道路 | | 市役所 |
| | 京奈和自動車道 | | 町役場 |
| | 京奈和自動車道 | | 24時間実測値 |
| | 京奈和自動車道 | | 12時間実測値 |
| | 京奈和自動車道 | | 3年度道路交通量調査 平日 |
| | 京奈和自動車道 | | 上段: 15h |
| | 京奈和自動車道 | | 下段: 24h |
| | 京奈和自動車道 | | () 推計値 |
| | 京奈和自動車道 | | 大和高田市 人口(国勢調査) |
| | 京奈和自動車道 | | 48,864(3,335.4) |
| | 京奈和自動車道 | | 48,861 |

この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(国測図像)を複製したものである。(承認番号 平30情規 第15号)